

地域脱炭素フォーラム in 横浜

地域脱炭素の実現に向けて 川崎未来エナジーが果たす役割

2025年5月17日



川崎市に根差した地域エネルギー会社

地域エネルギー会社とは

- **全国に100社**を超える自治体が関与する会社が存在
- 地域にある**再エネ電源等を域内に供給**するとともに、**地域の課題解決**に取り組むのが特徴
- **地域脱炭素**とともに**地方創生の担い手**となり得る

川崎未来エナジー株式会社の概要

confidential

事業内容 小売電気事業

設立 2023年10月12日（営業開始は2024年4月1日）

資本金 1億円

株主

企業・団体名		出資比率
① 川崎市	 川崎市	51.0%
② NTTアノードエナジー株式会社	 NTTアノードエナジー	18.5%
③ 東急株式会社	 東急	10.0%
④ 株式会社東急パワーサプライ	 東急パワーサプライ	8.5%
⑤ 川崎信用金庫	 川崎信用金庫	3.0%
⑥ セレサ川崎農業協同組合	 心つないで Smile For You... JAセレサ川崎	3.0%
⑦ 株式会社きらぼし銀行	 東京きらぼしフィナンシャルグループ きらぼし銀行	3.0%
⑧ 株式会社横浜銀行	 横浜銀行	3.0%

当社の小売電気事業のスキーム：再エネの地産地消

confidential

市民が排出したごみから生まれた電気を活用して、主に学校をはじめとした公共施設に再生可能エネルギーを供給

家庭



普通ごみの流れ



普通ごみを収集運搬

市廃棄物処理施設



普通ごみの焼却過程で電気を生産

学校など公共施設



電気の流れ



KAWASAKI
MIRAI
ENERGY

電気を市内に循環

脱炭素の取組に熱心な事業者への電力供給による再エネの社会実装

*脱炭素先行地域に選定されている川崎市高津区を拠点にしている事業所への供給

ヤマト運輸株式会社様



＜ヤマト運輸様の自らの取組＞

- 太陽光発電及び蓄電池、EMSを導入
- 営業所配置の集配車全25台をEV化



高津千年（ちとせ）営業所

川崎信用金庫様

＜川崎信用金庫様の自らの取組＞

- 太陽光発電を導入
- オフグリッド型のソーラーカーポートの導入



高津支店

市内小学校での出前授業



地球温暖化防止活動センターとの協働



グローバル・コンパクト・ネットワーク・ジャパン（GCNJ）との協働



Global Compact
Network Japan

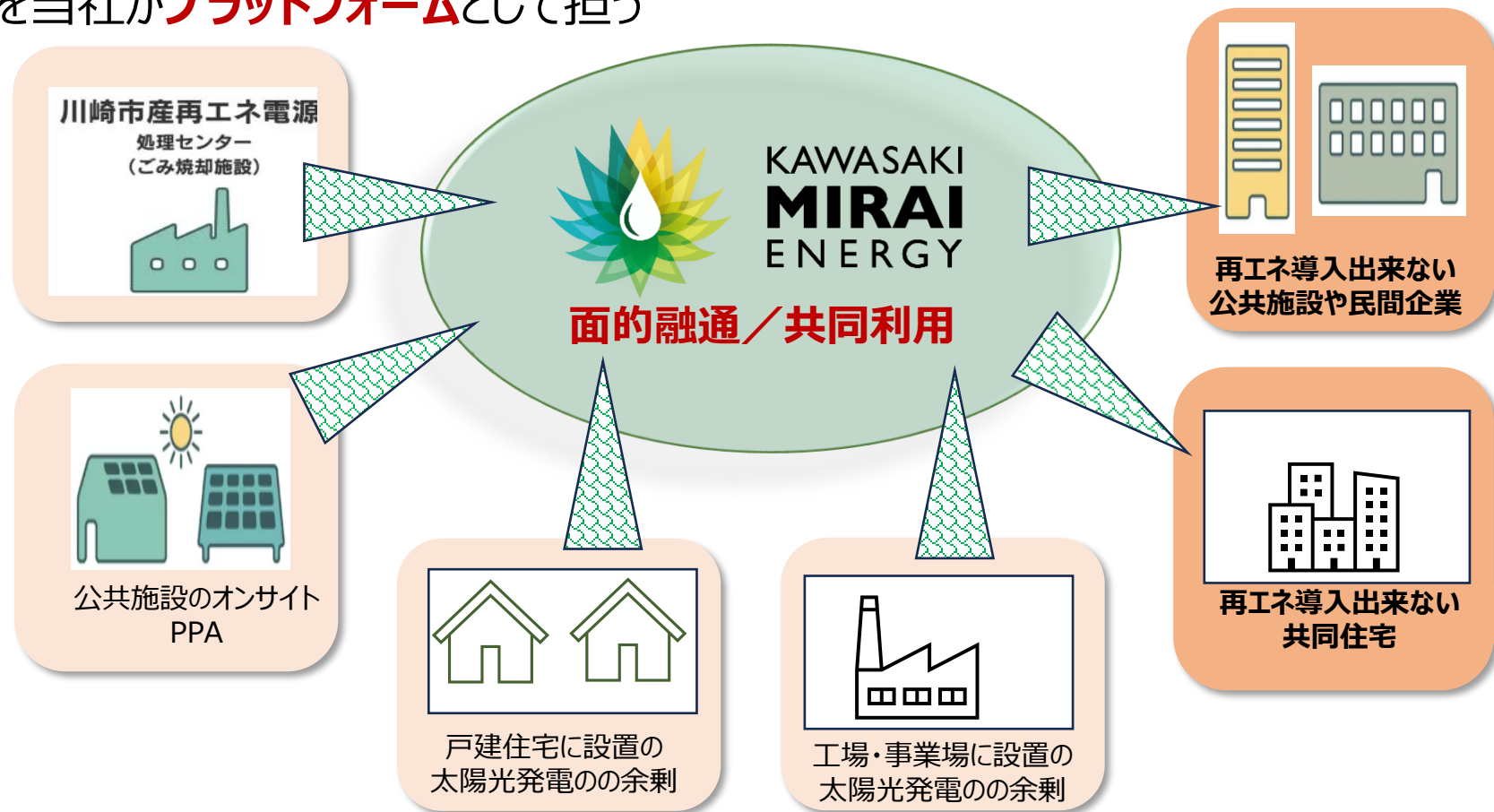
国連GCに署名した650企業・団体（2025年4月現在）で構成されるGCNJと、**会員同士のコレクティブアクション**を目指し、「脱炭素に向けた再エネ推進部会」を立ち上げ、検討を深化

その他

商工会議所などの経済団体の交流会での**地元事業者とのネットワーキング**
行政機関との連携

再エネ電力・再エネ価値の循環モデル（素案）

事業者や家庭や公共施設のエネルギーを融通しあい、「売りたい」「買いたい」のマッチングを当社が**プラットフォーム**として担う



再生可能エネルギーの面的利用による脱炭素な地域の創造